



第6学年2組 体育科学習指導案

令和3年10月7日(木) 第5校時 体育館
在籍児童 男子12名 女子17名 計31名
指導者 教諭 田代 哲士

1 単元名 TANGO 2021 (マット運動)

2 運動の特性

(1) 一般的特性

○回転したり、支持したり、逆位になったりするなどの技に挑戦し、その技ができる、また、自己の能力に適した回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることに喜びを味わうことのできる運動である。

(2) 児童からみた特性

マット運動の楽しさや喜びを感じる要因	マット運動を遠ざける要因
<ul style="list-style-type: none">・新しい技ができるようになったとき・技の精度が高まったとき・友達と教え合い、励まし合って練習ができたとき	<ul style="list-style-type: none">・技が失敗したとき・失敗やケガが予想され、恐怖感を抱いたとき・どのように運動したらよいかわからないとき

3 児童の実態

(1) 知識及び技能

本学級の児童は、低学年「マットを使った運動遊び」で「前転がり」「背支持倒立」「壁登り逆立ち」「支持での川跳び」などを学習し、中学年「器械運動」で「前転」「壁倒立」などを学習したが、「側方倒立回転」は学習指導要領の改訂により学習せずに高学年に上がった。以下の事前調査から、「補助倒立前転」は23%、「側方倒立回転」は23%、「ロンダート」は16%の児童が習得していることがわかる。

今回の技能調査により、本学級は、側方倒立回転やロンダートについての知識や経験を持たない児童が多いことがわかった。

	補助倒立前転	側方倒立回転	ロンダート		補助倒立前転	側方倒立回転	ロンダート		補助倒立前転	側方倒立回転	ロンダート
1	×	×	×	12	×	×	×	23		×	×
2	×	×	×	13	×	×	×	24	○	○	○
3	×	×	×	14	×	×	×	25	×	×	×
4	○	○	○	15	×	×	×	26	○	×	×
5	○	○	×	16	×	×	×	27	×	×	×
6	○	×	×	17	×	○	○	28	○	○	○
7	×	×	×	18	×	×	×	29	×	×	×
8	×	×	×	19	×	×	×	30(特)	×	×	×
9	×	×	×	20	×	×	×	31(特)	×	×	×
10	×	○	○	21	×	○	○				
11	○	×	×	22	×	×	×		23%	23%	16%

(調査日 令和3年9月6日)

【令和3年度 新体力テストの結果と埼玉県体力標準値との比較より】（ 5月 7日 実施）

	項目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ
男子	学級の平均値	19.93	25.14	54.86	46.50	66.29	8.74	165.79	20.93
	埼玉県体力標準値	19.32	23.84	37.84	47.66	63.76	8.89	167.16	24.20
	体力標準値との比較	○	○	○	▼	○	○	▼	▼
女子	学級の平均値	23.82	29.59	55.65	51.24	64.00	8.64	171.00	18.29
	埼玉県体力標準値	19.36	22.79	43.58	45.70	53.43	9.12	161.07	15.79
	体力標準値との比較	○	○	○	○	○	○	○	○

(2) 思考力、判断力、表現力等

1学期の陸上運動やバスケットボールの学習の様子を見ると、本学級は、運動のコツや行い方を見つけ出すことが苦手の児童が多いことがわかった。どのように運動すれば良いかわからず、教えてもらうのを待っていたり、同じ失敗を繰り返したりすることがよく見られる。一部の児童は、コツを見つけ出して上達したり、仲間にアドバイスしたりすることができる。

(3) 学びに向かう力、人間性等

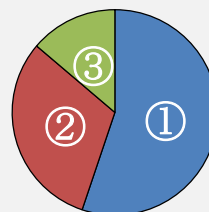
本学級は、運動に対して肯定的な児童が比較的多い。しかし、陸上運動や鉄棒運動、器械運動などを避けたがる児童は一定数いる。これまでの経験から、恐怖があったり、上達しないことへの諦めがあったりする。

しかし、友達の活躍に自然と拍手が沸き起こったり、お互いに励まし合いながら運動に取り組んだりする姿がよく見られ、仲間とともに何かを成し遂げることにに対して意欲的な面もある。

【体育に関する意識調査より】（ 調査人数 29人 7月 20日 実施 ）

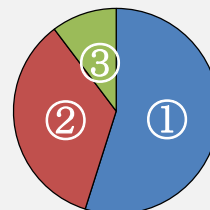
(1) 体を使って運動したり遊んだりすることは好きですか。

①好き	16人	55%
②どちらかといえば好き	9人	31%
③どちらかといえば嫌い	4人	14%
④嫌い	0人	0%



(2) 体育の学習は好きですか。

①好き	16人	55%
②どちらかといえば好き	10人	35%
③どちらかといえば嫌い	3人	10%
④嫌い	0人	0%



(3) 体育の学習で好きなものは何ですか。

走る…11人 跳ぶ…10人 水泳…15人 マット…9人 鉄棒…7人
跳び箱…11人 表現…6人 ボール…9人 保健…5人

(4) 好きな理由は何ですか。

得意だから…22人 コツがわかったから…6人 練習して上手になったから…9人
協力できたから…8人 褒められたから…3人 学習カードや掲示物がわかりやすいから…4人

(5) 体育の学習で嫌いなものは何ですか。

走る…14人 跳ぶ…11人 水泳…5人 マット…10人 鉄棒…12人
跳び箱…8 表現…10人 ボール…9人 保健…2人 特になし…5人

(6) 嫌いな理由は何ですか。

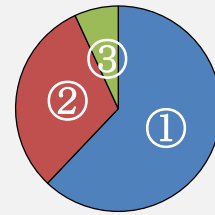
苦手だから…18人 コツがわからないから…8人 練習しても上手にならないから…11人
ケガをしそうでこわいから…17人 学習カードや掲示物がわかりにくいから…1人

(7) 体育の学習で必要なものは何だと思いませんか。

練習時間…25人 コツ…18人 先生の声掛けや補助…8人 友達のアドバイス…9人
学習カードや掲示物…6人 応援…7人 お助け道具…7人

(8) 最後まで諦めずに頑張ることができますか。

①できる	18人	62%
②すこしできる	9人	31%
③あまりできない	2人	7%
④できない	0人	0%



(9) 諦めずに頑張ってもよかったと思う時はどんな時ですか。

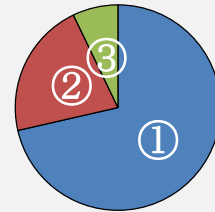
新しいことができるようになった時…21人 試合で勝った時…14人
新記録が出た時…20人 上達を実感した時…15人 褒められた時…10人
自分の努力が報われたと感じた時…10人

(10) 諦めずに頑張ることについて、難しいところはどんなところですか。

頑張ってもできるようにならないところ…10人

(11) みんなで協力して運動するのが好きですか。

①好き	20人	69%
②すこし好き	6人	21%
③すこし嫌い	3人	10%
④嫌い	0人	0%



(12) 体育の学習で協力することが好きな理由は何ですか。

楽しいから…19人 運動が得意になるから…8人
みんなの心が一つになるから…13人 お互いに褒め合えるから…8人

(13) 体育の学習で協力することが嫌いな理由は何ですか。

どうやって協力すればいいかわからないから…8人

研究主題 「主体的に取り組み、学びあう児童の育成」

副題 ～一人一人が主役の丹後っ子！みんなで協力してぐんぐんパワーアップ！～

(1) 知識及び技能

本単元では、回転系の技「補助倒立前転」と「側方倒立回転」を取り上げ、今までの既習技とつなぎ技で組み合わせる力を身に付けさせることを目指す。

「小学校学習指導要領解説 体育編」には、補助倒立前転について「片足を振り上げ補助倒立を行い、前に倒れながら腕を曲げ、頭を入れて前転すること。」と示され、「側方倒立回転」については、「正面を向き、体を前方へ振り下ろしながら片足を振り上げ、前方に片手ずつ着き、腰を伸ばした姿勢で倒立位を経過し、側方回転しながら片足を振り下ろして起き上がること。」と示されている。そこで、感覚づくりの運動として「ぐんぐんタイム」、中心技の練習としての「メラメラタイム」、組み合わせ技の練習をする「パワーアップタイム」に毎時間取り組ませ、技の習得を図る。

「片足を振り上げ補助倒立を行い」の感覚を作るために、かえるの足打ち、背支持倒立、壁登り逆立ち、壁倒立に取り組ませる。足を上げる感覚、逆さ感覚、両手で支持する感覚を養うねらいがある。

「前に倒れながら腕を曲げ、頭を入れて前転すること。」の感覚を作るために、壁登り逆立ち+前転+起立、大きなゆりかご+起立、背支持倒立+起立を取り入れる。重心を移動させる感覚、順次接触の感覚、かかとお尻に引き付ける感覚を身に付けさせる。

「正面を向き、体を前方へ振り下ろしながら片足を振り上げ、前方に片手ずつ着き」の感覚を作るために、腕立て横跳び越しに取り組ませる。正面から体をねじりながら着手する感覚や足を振り上げる感覚を身に付けさせる。

「腰を伸ばした姿勢で倒立位を経過し、側方回転しながら片足を振り下ろして起き上がること。」の意識を作るために、ゴムひもを使って側方倒立回転に取り組ませ、足をぴんと伸ばす意識を身に付けさせる。

上記の感覚を「ぐんぐんタイム」「メラメラタイム（中心技・発展技の習得）」「パワーアップタイム（技の精練）（組み合わせ技の練習）」の流れの中で習得させる。

(2) 思考力、判断力、表現力

1 グループの人数を2人にし、一人一人が考える時間や学び合いの機会を確保する。また、遅延再生アプリを活用し、自分自身との対話の中で、課題を見つけたり解決したりする能力の向上を図る。また、課題→試行錯誤の過程を記録→ふり返り→次時の課題・・・と学びのスパイラルをねらいとした学習カードを作成し、児童の思考力、判断力、表現力を伸ばしていきたい。

(3) 学びに向かう力、人間性等

意識調査からうかがえるように、本学級は、器械運動を嫌う児童が一定数いる。恐怖体験や上達しないことへの諦めがあるため、安心感や成功体験を積み重ねる必要がある。そこで、十分なストレッチでケガを予防したり、学習カードで児童一人一人のつまづきを把握し助言したりすることで、運動に意欲的に取り組めるようにする。また、児童の授業態度（ダッシュでの移動、マットの耳入れ等）や意識（準備体操のポイントや運動のポイントをおさえた動き等）を取り上げるなど、肯定的な声かけを意識して、児童の運動への意欲を養いたい。児童同士の称賛は、積極的に拍手を用いられるよう指導する。

(4) 研究の仮説及び手立て

仮説① 「できる」「わかる」を多く味わうことができれば、児童一人一人が主役となって体力を高めることができるであろう。

○技の達成度を細分化

- ・技を「できた」「できない」の2択ではなく、「ここまではできた」と実感できるようにスモールステップ化し、児童の達成感を得る回数を増やす。

○学習の流れの定着

- ・毎時間の学習の流れを「ぐんぐんタイム（感覚づくり）」「メラメラタイム（中心技・発展技の習得）」「パワーアップタイム（技の精練）（組み合わせ技の練習）」の3段階とし、児童が見通しを持ちながら、技の練習に集中できるようにする。

仮説② 仲間と共に学ぶ楽しさを味わわせ、自己有用感や集団所属感を持たせれば、児童一人一人が主役となって体力を高めることができるであろう。

○少人数グループ

- ・グループを2人組とし、学び合いを活性化させる。「なぜできるのか」「なぜできないのか」を学び合い、どうしたら（より美しく）できるようになるのか考えられるようにする。

○ICTの活用

- ・全ての場に遅延再生アプリの入ったタブレットを設置し、自身の動きの確認だけでなく、友達との学び合いに活用できるようにする。
- ・大型テレビで、お手本の技をリピート再生し、自身の動きと比べたり、友達から教えられたりしながら課題を見付けることができるようにする。

【目指す学級像】

- ・認め合い協力できるクラス
- ・進んで運動に取り組み互いに励まし合うクラス

新型コロナウイルス感染症対策

- ①授業前に全児童の手の消毒
- ②手で顔を触らないことの徹底
- ③児童同士の間隔（2 m）の確保を徹底する
- ④さすまた（補助できるくん）の活用

5 単元の目標

- (1) マット運動の行い方を知り、回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりすることができるようにする。【 知識及び技能 】
- (2) 自己の能力に適した課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。【 思考力、判断力、表現力等 】
- (3) 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や器械・器具の安全に気を配ったりすることができるようにする。【 学びに向かう力、人間性等 】

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①マット運動の行い方について言ったり、書いたりしている。 ②補助倒立前転ができる。 ③側方倒立回転ができる。 ④基本的な技や、発展的な技を行ったり、それらを繰り返したり、組み合わせたりすることができる。	①自己の能力に適した課題を見付け、練習の仕方を選び、運動に取り組んでいる。 ②学び合いやタブレットの活用により、仲間の課題を見つけ、伝えている。	①マット運動に積極的に取り組もうとしている。 ②約束を守り助け合って運動をしようとしている。 ③仲間の考えや取組を認めようとしている。 ④場や器械・器具の安全に気を配っている。

7 単元の計画

(1) 領域の取り上げ方

運動/学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
マット運動(遊び)	7時間	7時間	8時間	8時間	8時間	8時間

(2) 領域の内容(運動種目)と目指す動き

学年	内容	目指す動き
1年 2年	マットを使った運動遊び (川跳び)	○マットを使っているいろいろな遊びをして楽しむこと。 ○楽しく遊ぶことができる場を選んで楽しむこと。
3年	前転 後転	○しゃがんだ姿勢から手で支えながら腰を上げ、体を丸めながら後頭部―背中―尻―足裏の順にマットに接して前方に回転して立ち上がること。 ○しゃがんだ姿勢から体を丸めながら尻―背中―後頭部―足裏の順にマットに接して腰を上げながら後方に回転し、両手で押して立ち上がること。
4年	開脚後転 側方倒立回転 首はね起き	○しゃがんだ姿勢から体を丸めながら尻―背中―後頭部―足裏の順にマットに接して腰を上げながら後方に回転し、膝を伸ばして足を左右に大きく開き、両手で押して膝を伸ばしたまま開脚立ちすること。 ○正面を向き体を前方へ振り下ろしながら片足を振り上げ、前方に片手ずつ着き、腰を伸ばした姿勢で倒立位を経過し、側方回転しながら片足を振り下ろして起き上がること。 ○前転を行うように回転し、両肩―背中がマットについたら腕と腰を伸ばし、体をそらせながらはね起きること。
5年	開脚前転 伸膝後転	○両手と後頭部をつきながら腰を上げ前方へ回転し、膝を伸ばして足を左右に大きく開き、接地するとともに素早く両手を股の近くについて膝を伸ばしたまま開脚立ちすること。 ○直立の姿勢から前屈しながら後方へ倒れ、尻をつき、膝を伸ばして後方へ回転し、両手でマットを押して膝を伸ばしたまま立ち上がること。
6年	補助倒立前転 ロンダート	○片足を振り上げ補助倒立を行い、前に倒れながら腕を曲げ、頭を入れて前転すること。 ○正面を向き、体を前方へ振り下ろしながら片足を振り上げ、前方に片手ずつ着き、腰を伸ばした姿勢で倒立位を経過し、側方回転しながら片足を振り下ろして起き上がること。

(3) 指導と評価の計画 (8時間扱い) 本時は○印 5/8

時間	1	2	3	4	5	6	7	8	
ねらい	マット運動の基本的な行い方を知って楽しもう。	補助倒立前転をして、自分の課題を見つけよう。	片足を振り上げ補助(壁)倒立前転をしよう。	補助(壁)倒立から、へそを見て前転をしよう。	側方倒立回転をして、自分の課題を見つけよう。	身体の向きに気を付けて側方倒立回転をしよう。	足を高く上げて側方倒立回転をしよう。	TANGO 2021で最高の演技をしよう。	
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> 学習の進め方・約束 準備・片付けの方法 学習カードの記入方法 	<ul style="list-style-type: none"> 腕の振り上げ、振り下ろし 足の振り上げ・腕支持 補助の仕方・つなぎ技 		<ul style="list-style-type: none"> あごを引き腕を曲げ前転へ移行すること 瞬燃 かかとを尻尾に引き付けたこと 	<ul style="list-style-type: none"> 正面を向き着手の後で体をひねり着手すること 着地を一直線にすること 		<ul style="list-style-type: none"> 足を高く振り上げ倒立位を垂直に近づけること 	<ul style="list-style-type: none"> 発表の仕方や見方 	
学習過程	1 集合、整列、あいさつ、服装チェック、健康観察をする。 2 前時の振り返りをする。 3 準備運動、ストレッチ、補強運動をする。 4 場の準備をする。								
	<p>(オリエンテーション)</p> <p>5 単元の学習内容と本時のねらいを確認する。</p> <p>6 学習の進め方に見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習過程 1時間の流れ 用具や場づくり 学習カードの書き方 <p>7 ぐんぐんタイムに取り組み</p> <p>かえるの足打ち、大きなゆりかご+起立、背支持倒立+起立、壁倒立、壁登り逆立ち+前転+起立、腕立て横跳び越し</p> <p>8 ぐんぐんタイムの運動と中心技とのつながりを確認する。</p>	<p>5 本時のねらいを確認する。</p> <p>6 ぐんぐんタイムに取り組む。</p> <p>①→②の順で感覚づくりの運動をする。</p> <p>①かえるの足打ち、大きなゆりかご+起立、背支持倒立+起立</p> <p>②壁倒立、壁登り逆立ち+前転+起立</p> <p>7 メラメラタイムに取り組む。</p> <p>中心技「補助倒立前転」、発展技「倒立前転」の練習をする。</p> <p>グループの友達に2回続けて中心技の合格をもらう。(合格したら赤帽子)</p> <p>【合格の基準】①腰、膝、つまさきがまっすぐな補助倒立(2秒静止) ②前転し手を着かざり起立(2秒静止)</p> <p>○遅延再生アプリを使い、目指す動きと実際の動きを比較する。</p> <p>○グループで目指す動きに近づける方法を探し合う。</p> <p>○技が上手いかわからない時は、壁マットや肋木、カラーマットでぐんぐんタイムの動きに立ち返る。</p> <p>8 パワーアップタイムに取り組む。</p> <p>中心技や既習の技を繰り返したり、組み合わせたりする。</p> <p>その中で、技の精錬を目指す。</p> <p>○どの技を組み込むのか、どのつなぎ技で繋ぐのか考える。</p> <p>○メラメラタイムで意識した目指す動きを、組み合わせの中に入れる。</p>	<p>中心技とのつながりを意識させる</p>	<p>5 本時のねらいを確認する。</p> <p>6 ぐんぐんタイムに取り組む。</p> <p>①→②の順で感覚づくりの運動をする。</p> <p>①腕立て横跳び越し、大きなゆりかご+起立、背支持倒立+起立</p> <p>②壁倒立、壁登り逆立ち+前転+起立</p> <p>7 メラメラタイムに取り組む。</p> <p>中心技「側方倒立回転」、発展技「ロンダート」の練習をする。</p> <p>グループの友達に2回続けて中心技の合格をもらう。(合格したら赤帽子)</p> <p>【合格の基準】①腰、膝、つまさきがまっすぐな倒立位 ②回転し2秒静止</p> <p>○遅延再生アプリを使い、目指す動きと実際の動きを比較する。</p> <p>○グループで目指す動きに近づける方法を探し合う。</p> <p>○技が上手いかわからない時は、壁マットや肋木、カラーマットでぐんぐんタイムの動きに立ち返る。</p> <p>8 パワーアップタイムに取り組む。</p> <p>中心技や既習の技を繰り返したり、組み合わせたりする。</p> <p>その中で、技の精錬を目指す。</p> <p>○どの技を組み込むのか、どのつなぎ技で繋ぐのか考える。</p> <p>○メラメラタイムで意識した目指す動きを、組み合わせの中に入れる。</p>	<p>安全面(演技の前後の合図、マットの耳・ずれ)の徹底</p>	<p>「動」と「静」を意識させる。</p>	<p>5 演技本番に向けてパワーアップタイムに取り組む。</p> <p>6 TANGO 2021を行う。</p> <p>○中心技の「補助倒立前転」か「側方倒立回転」を取り入れた連続技をする。</p> <p>○友達の発表には、全員で拍手する。</p>		
評価計画	知・技	①		②	②		③	③	④
	思・判・表		①②			①②			
	態	①④		②	②		②	②	③
	方法	観察・学習カード							
	場面	6・7	7・8	7・8	7・8	7	7・8	7・8	6

8 本時の学習と指導 (5/8時)

(1) ねらい


- ・自己の能力に適した課題を見付け、練習の仕方を選び、運動に取り組めるようにする。(健・働・観・備)

(2) 準備

- ・マット ・タブレット ・タブレット台 ・大型テレビ ・補助できるくん (さすまた)
- ・壁マット ・掲示資料 ・学習カード ・筆記用具

(3) 展開

段階	学習内容・活動	指導上の留意点 (○指導 ◆評価規準 ◎研究との関わり) ☆「振り返りチェック10」の重点
	1 集合、整列、あいさつ、服装チェック、健康観察をする。 2 前時の振り返りをする。 3 準備運動、ストレッチ、補強運動 (かえる倒立) をする。 4 準備をする。 5 本時のねらいを確認する。	○服装を整え、元気に明るく挨拶できるようにし、安全でメリハリのある学習ができるようにする。 ○単元としての繋がりを感じたり、活動の中で本時のねらいを意識したりできるように、確認をする。 ○それぞれの動きのポイントをおさえている児童を称賛し、良い動きを広められるようにする。 ○用具の準備を進んで行ったり、素早く行動したりしている児童を褒め、良い動きを広められるようにする。
導	側方倒立回転をして、自分の課題を見つけよう。	
入 1 5 分		○本時のねらいに迫る発問をし、児童が主体的に活動できるように促す。 ◎大型テレビでお手本の技を再生し、 <u>技のポイント</u> をおさえる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 【側方倒立回転のポイント】 <ul style="list-style-type: none"> ・身体を正面に向け、両手を縦に並べて着手すること。 ・手手足足は一直線に着地すること。 </div> ☆本時のねらいや課題を明確にし、学習の見通しを持たせ導入するために既習事項を想起させる。

	<p>6 ぐんぐんタイム（感覚つくりの運動）に取り組む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①腕立て横跳び越し 大きなゆりかご+起立 背支持倒立+起立</p> <p>②壁倒立 壁登り逆立ち+前転+起立</p> </div>	<p>○チームやペアで励まし合いながら運動に取り組めるように、肯定的な声掛けをしている児童を褒める。</p> <p>○<u>運動のポイント</u>をおさえて取り組めるように、意識できている児童を褒める。</p> <div style="text-align: center;">  </div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>【運動のポイント】</p> <p><u>腕立て横跳び越し</u> ・身体をまっすぐ正面に向けたまま、両手を縦に並べて着手している。</p> <p><u>大きなゆりかご+起立</u> ・ひざを伸ばし、立つ直前にかかとをお尻に引き付け、手を使わずに立っている。</p> <p><u>背支持倒立+起立</u> ・ひざを伸ばし、立つ直前にかかとをお尻に引き付け、手を使わずに立っている。</p> <p><u>壁倒立</u> ・手を振り上げて勢いをつけている。 ・両手と目線がピラミッド型になるように支持している。 ・つま先を伸ばし、足の裏にしわができるようにしている。</p> <p><u>壁登り逆立ち+前転+起立</u> ・両手と目線がピラミッド型になるように支持している。 ・つま先を伸ばし、足の裏にしわができるようにしている。 ・ひざを伸ばし、立つ直前にかかとをお尻に引き付け、手を使わずに立っている。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; float: right;"> <p><u>共通</u> ・運動の終わりに2秒静止している。</p> </div>	
<p>展 開 分</p>	<p>7 メラメラタイム（側方倒立回転・ロンダートの習得）に取り組む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【今日の合格の基準】 ・自己の課題を見つけている。</p> </div>	<p>◎大型テレビで手本となる動きをリピート再生し、場にタブレットを設置することで、児童が課題を見付けやすくする。</p> <p>○自己の課題を見つけ、その練習方法を思いついたら帽子を赤色に変えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆自己の能力に適した課題を見付け、練習の仕方を選び、運動に取り組んでいる。（観察・学習カード）【思考・判断・表現】</p> </div>
	<p>△努力を要すると判断される状況（C）の児童への指導の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別に動画を撮影し、スローで再生する。手本の動きと比べさせ、課題を明確にする。 ・つまずきを解消するためには、感覚つくりの運動のどれにあたるか考えさせる。 <p>◎十分満足できると判断される状況（A）の児童の具体的な姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の課題を解決するための練習方法や場を選び運動するとともに、それを説明したりワークシートに記入したりしている。 	
	<p>8 パワーアップタイム（技の精錬・組み合わせ技の練習）に取り組む。</p>	<p>○つなぎ技を使い、側方倒立前転やロンダートと既習の技を組み合わせさせる。</p> <p>○中心技が未習得の場合は、既習の技を組み合わせさせる。</p> <p>○「動」と「静」を意識させ、メリハリのある演技ができるようにする。</p> <p>○最後に、児童を数人選出し、発表させる。</p>

整 理 5 分	9 片づけをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○素早く、安全に、協力して片付けができるようにする。 ○用具の片づけを進んで行ったり、素早く行動したりしている児童を褒め、良い動きを広められるようにする。
	10 本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○めあてに対して、振り返ったことを学習カードに記入させる。 ○本時の振り返りを発表させ、次時への意欲を高める。
	11 整理運動、あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ゆっくりとした動作で、体全体をほぐすようにする。 ○健康観察を行う。 ○元気に明るく挨拶できるようにし、次時の学習に繋げる。